

探究の道のりを 確認しよう

探究はサイクルとよく言われる。疑問、仮説、検証、新たな疑問、……。その思考の道筋を振り返るツールが探究マップである。これから論文を執筆するにあたって、自身の探究の道のりを振り返ろう。

2 学期の予定

- ⑩ 9/4 アイスブレイク/アンケート
- ⑪ 9/11 調査計画を立てよう
- ⑫ 9/18 調査計画書を完成させよう
- ⑬ 9/25 調査を始めよう **★計画書の提出**
- ⑭ 10/2 (調査、実験・検証)
- ⑮ 10/9 中3の調査計画発表(高1は聞く人)
- 10/16 中間試験

10/23 観劇

- ★ 10/26 (調査、実験・検証) ※探究week
- ⑯ 10/30 高1の調査結果発表日(中3が聞く人)
- ⑰ 11/6 調査の振り返り
- ⑱ 11/13 探究マップ
- ⑲ 11/20 論文の書き方、論文執筆開始
- ⑳ 11/27 論文執筆
- ㉑ 12/4 **★論文(はじめに～結果)まで提出!**

Step1 ➤ 思考ツール「探究マップLight」

「探究マップLight」は、自分の考えを整理し、探究の問いを深めていくための考具です。レポートを書いたり、プレゼンテーションの構成を考えたりするときに、自分の考えを組み立てていく助けとなります。

4月から探究をスタートし、発表までしたこのタイミングで、今一度自分の探究を振り返り、自分の探究の道筋を整理してみましょう。

【探究マップの使い方】

動画を見て、探究マップの使い方を確認します。右ページには、探究マップの使い方とその例が示してありますので、これまでの自分の探究を当てはめたらどのようなかを考え、メモを取りながら説明を聞くと良いでしょう。

- ・「① 問い」・・・自分の探究のきっかけになった問い。
- ・「② どうなっているか」・・・問いに関連する背景、現状について、1学期の調査でわかったことを、付箋をたくさん重ねて(並べて)確認しよう。
- ・「③ なぜそうなのか」・・・「②」をふまえて、どうしてそのような現状になっているのか、その原因について整理。
- ・「⑤ どうすればよいか」・・・問題の解決策の提案であれば「解決策」。現象の理解であれば「仮説」の形でOK。
- ・「④ なぜそういえるのか」・・・仮説をサポートする証拠。
- ・「⑥ やってみた結果どうだったか」・・・検証した結果。

◆ 問いをより具体的にするための2ステップ

Step1. 調査結果に対して、問いを立て、①の付箋を更新してみよう

Step2. 更新された問いの答えに迫れるよう、追加で調査をしよう

探究とは・・・

「自分が納得いくまで根拠を探し、仮説を更新し続けること。」

Step2 ➤ 「探究マップLight」を使ってみましょう。

ロイロノートの資料箱に探究マップlightのファイルを入れてあります。

これに、カードを付箋の代わりに貼り付けて、自身の探究に当てはめてみましょう。

Step3 ➤ ロイロノートの提出箱に、付箋を貼り付けた探究マップlightを提出しましょう。

探究マップLight

“探究マップLight”は、付せんを貼り替えながら
問いを深めるための、考具です



①問い

疑問は持つもの、
問いは立てるもの。
まずは、探究のための
問いを立ててみましょう



②どうなっているか

「問い」の背景を探索。
現状を把握するために
調査します。
複数の観点から考えて
みましょう

?

⑤どうすればよいか

問題の原因を突き止め、
解決策を仮説として
立てます



③なぜそうなのか

「問い」の原因を追究。
真の原因と呼べそうな
「真犯人」をさがせ！
問題の本質を
あぶり出します



④なぜそういえるのか

仮説が見えたらいったん停止。
本当にその仮説でいいの？
どうしてその方法がすぐれて
いるといえるの？
さあ、根拠を考えよう！

⑥やってみた結果 どうだったか

大切なのはココ。
失敗しても大丈夫。
新たな問いが手に入るよ

年 組 番 氏 名

新しい
問いへ

問い

(問い)
ここはかつて
どんな土地だったのか。

どうなっているか
(現状把握／調査)

※ここは付箋をたくさん重ねて貼ります

地中から貝殻が見つかった

どうすればよいか
(解決策／仮説)

(仮説)
ここはかつては海だった？

なぜそういえるのか
(根拠)

地中から魚の骨もみつかった

なぜそうなのか
(原因)

・誰かが運んできた？
・人間が食べたあと？
・もともと貝がいた？

The formulation of the problem is often more essential than its solution...Albert Einstein.

2019.9.5発行 Ver2.0 © 2019 competency project team.



11月13日 探究の道のりを確認しよう

担当教員	生徒数	教室	ロイロノート クラスコード				

「教養総合Ⅰ」で伝統的に使われている「探究マップ」を使って、論文執筆前の思考の整理をするイメージです。

①探究マップの使い方動画をみてる

②実際にやってみる

→ロイロノートにpdf版の探究マップがあります。

そこに書き込む（付箋を貼っていく）形で構いません。

ここで整理したことが来週以降の論文の大枠を作ってくれると思います。
足りないこと、不十分なことがあれば、追加で調査するように促してください。

~14:10 ロイロで探究マップを提出